

こんにちは、男鬼楽座です。今年も男鬼で活動していきます！また茅葺きイベントやシンポジウムに参加していく予定です。

本号では男鬼の見学や、竹刈り、茅葺き体験会への参加の様子をお伝えします。

男鬼見学

5月16日、男鬼の見学に行きました。これから中心となって活動していく男鬼楽座のメンバーが、男鬼の現在の状況を把握し、今年度の活動内容を検討することができました。

彦根市男鬼町は、彦根市・多賀町・米原市との境の山中、標高420mに位置します。県立大学から車で走ること40分の場所です。



男鬼の中心を芹川の源流が蛇行して流れているため、集落の中心を通る道もそれに沿ってカーブしています。

男鬼の民家は、建てられている向きや出入り口の位置が、それぞれの民家で異なることが特徴です。



今は住民がいない男鬼ですが、明治の最盛期には50戸もの民家がありました。現在約10戸民家が残っていますが、大半が維持管理のしやすいトタンで覆われています。

男鬼楽座が葺き替えを行っている大久保正一郎は、現在唯一男鬼に残るトタンを被せていない茅葺き民家です。伝統的な茅葺き民家の姿を残す貴重な建造物です。男鬼楽座では、平成18年度からこの大久保邸の葺き替えを行い、山村の生活文化の保存と活用を目指し活動しています。



横からの大久保邸の屋根の写真です。昨年度は屋根下部（写真左下）の部分の葺き替えを行いました。横から見ると屋根の上部が荒廃しているのが分かります。

今年も茅葺き屋根葺き替えイベントを行います！今年は屋根上部の葺き替えを行う予定です。

竹刈り

5月に茅葺き屋根のおさえに使う竹を刈りました。



美山・カヤマル '09

5月22日から24日の3日間、京都府南丹美山町砂木地区にて、茅葺き職人さん主催の茅葺き替え体験会・カヤマルが行われました。

これが今回葺き替えを行った、江戸時代に建てられた茅葺きのお堂です。



葺き替えには去年12月に地元の方々といっしょに刈った茅も使われました。



こちらが茅刈りの様子です。

葺き替えの様子です。



茅やヨシを並べていきます。



一旦たたきで屋根の形を整えていきます。



竹で茅をおさえ、針で屋根の骨組みに縫い付けていきます。
この工程を何度も繰り返しながら、屋根を葺き上げていきます。



3日間でだいぶ屋根を葺くことができました。
みなさんおつかれさまでした!!



最後に重要な建造物群保存地区に指定されている美山町の北地区を見学しました。

茅葺き体験会@神戸

6月6日・7日に兵庫県神戸市の赤井邸で行われた、茅葺き体験会@神戸に参加しました。他大学の学生さん、建築関係者の方々など、たくさんの方が参加されていました。

このようなイベントに参加するのも、地下足袋を履くのも初めてでした。コハゼというツメをはめるのにも一苦労…。

実際に足場の上に乗ってみると、けっこう高くて、ちょっとこわい。けれど慣れるとすごく居心地が良いですね。良い天気だったので、余計に気持ち良かったです。



茅を切ったり、運んだり、縄の結び方など基本的なことから、屋根に乗って茅の葺き替えをする作業を体験しました。

まず、屋根の内側に乗って茅を固定する作業を手伝いました。外側にいる人が大きな針を使って針金を屋根に通し竹を止める作業を、声をかけて誘導しました。針金を結ぶときに、「とっくり結び」をするのですが、これが難しい。茅を束ねるときにも使うので、しっかり覚えないと。

さらに難しいのが、「おとこ結び」です。何度も練習して、足場の木を結んでみましたが、できない。緩んでくると大変なことになるので、あまりしないでおきました。

茅の葺き替えは、茅をまっすぐに並べていくため、思った以上に慎重な作業でした。長さの違う茅を順番に何重にも重ねていきました。その後、茅を道具でたたいて整えるのですが、職人さんのようにきれいにできませんね。



この2日間は、初めてのことばかりで、とても新鮮な感じでした。ひとつひとつの作業が思った以上に楽しかったです。力仕事のため、疲れましたが、赤井さんが作ってくれたご飯がすごくおいしかったので、疲れも吹っ飛びました!

男鬼での葺き替えの前に体験ができて良い勉強になりました。



切る前はこんなに長い!



ヨシはけっこう硬くて切るのも大変でした



けが人もなく、無事終了!! みなさんおつかれさまでした!!

今年度の活動

- 5月 男鬼見学
- 7月 茅葺き屋根葺き替えイベント
- 9月 地域再生系学生サミット
- 11月 全国茅葺き民家保存活用ネットワーク協議会シンポジウム
- 11~12月 茅刈りイベント

お知らせ

~茅葺き屋根葺き替えイベント~

日程: 7/17(金)・18(土)

美山の茅葺き職人さんにも来ていただき、指導していただきます。興味のある方はご参加ください! 詳細は、後日チラシなどでお知らせします。



昨年の葺き替えイベントの様子

こんにちは、男鬼楽座です。5月末に行われる予定であったシンポジウムは9月へ延期となりましたが、男鬼での葺き替えイベントは、無事終わることができました。

男鬼葺き替え

7月11日に、葺き替え準備のため竹を刈りを行いました。そして7月17・18日には、彦根市男鬼町・大久保正一郎にて、茅葺き屋根の葺き替えイベントを行い、19日は男鬼楽座のメンバーと職人さんだけで葺き替えをしました。

茅運び・竹刈り

7月11日に屋根の足場に使う竹を、大学近くの竹林で刈りました。何メートルにもなる竹を刈るのは思った以上に重労働でしたが、刈り倒したときの快感は今でも忘れられません！ただ最終的に最も大変だったのは、様々な虫との闘いでした。

それから屋根の葺き材となる茅を、多賀町保月（ほうづき）から運び出しました。2tトラックに積まれた溢れんばかりの茅と竹を運びました。

男鬼への険しい山道に行く途中、多少のアクシデントはありましたが、なんとか運ぶ事ができました。



葺き替え

今回は、事前に岩崎工業さんに足場を組んでいただき、葺き替えの作業がスムーズに始まりました。

17日は少し雨模様で天気が心配でしたが、なんとか夕方までもってくれました。もしかして、自称・晴れ女さんのおかげ!!

今年は、6人の茅葺き職人さんに来ていただきました。昨年からの続きで、屋根の片面上部の葺き替えを行いました。

また17、18日にはイベントを行い、合わせて20人の一般の方や学生さんに参加していただきました。

* * * * *



はじめは、このような状態でした。この屋根を3日間かけて葺き替えていきました。



また、破風の部分が雨漏れしそうでしたが、トタンをかぶせて応急処置をしていただきました。



まず、針と針金で屋根の下地を縫っていきます。



同時に、屋根の内側では、縫う作業の誘導の針受けをします。煤が舞ってけっこう大変でした。



地上では、茅を必要な長さに切っていく作業をしました。



異なる長さの茅を、順番にならべていきます。足場の竹の数が増えていっています。



だんだん上のほうまで出来上がってきました。

そして・・・

見違えるほど、きれいな屋根になりました!!



※屋根にある竹は、足場用のものです。



みなさん、おつかれさまでした!!

男鬼通信

—Reported by OHRI-RAKUZA—

NO.7 2009 秋

男鬼楽座 滋賀県立大学人間文化学部 濱崎・石川研究室

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

TEL/FAX 0749-28-8611

E-mail hama_ishi_ken@yahoo.co.jp

近江楽座
まち・むら・くらしふれあい工舎

こんにちは、男鬼楽座です。もう秋になり、けっこう肌寒くなってきました。新型インフルエンザも心配ですが、そんなこと言ってもらえません。もうすぐ茅刈りの時期です！！

今回は、大学生地域再生活動団体サミット、笹刈りに参加したことを報告します。

* * * * *

大学生地域再生活動団体サミット

に参加しました！

9月5・6日、京都府宮津市で第1回大学生地域再生活動団体サミット（以下、サミット）が行われました。宮津市は、主催者である立命館大学・丹後村おこし開発チームの活動拠点です。地域で活動する日本各地の大学のチームが、宮津会館に集まり、それぞれの活動を発表しました。



宮津会館の後ろには、日本海が広がっています！

* * * * *

私たちのように地域で活動する学生団体が集まるのは、初めてのことです。サミットには男鬼楽座のメンバーのうち、3回生5人が参加しました。

今回参加したのは、以下の10大学のチームです。

- ・北海道大学 日本農業系学生会議 JASC 実行委員会
- ・早稲田大学 学生 NPO 農楽塾
- ・東京農工大学 黒森もりもり倶楽部
- ・豊橋技術科学大学大学院 よらっせ！
- ・帝京科学大学 森のココペリ
- ・岐阜大学系かみいしづ古民家再生プロジェクト
- ・立命館大学経営学部プロジェクト団体 丹後村おこし開発チーム

- ・武庫川女子大学 古民家族 船坂古民家再生プロジェクト～古民家自力修復への挑戦～
 - ・立命館アジア太平洋大学 LSB (Long Stay Beppu) 研究会
 - ・滋賀県立大学 男鬼楽座 限界集落の村おこし
- * * * * *
- 有識者を招いてのサミットで、発表後には講評をいただきました。男鬼は他の団体とは違い、人々が住まない消滅集落で活動しているので、行政に働きかけなければならないとのコメントをいただきました。

また、今年の茅葺き屋根の葺き替えイベントを行った時の映像を見て頂いたのですが、なかなか好評でした。しかし、直前にスライドを追加し、準備不足なところもありました。



代表の前田早紀さんが発表をしました。

サミット 2日目



前日から場所を移動していて、このような山の緑がとてもきれいなところで、宿泊しました。

細い山道をバスで上っていくのですが、まるで男鬼に行くときのような感じでした。しばらく男鬼には行っていないので、一度行かなくては。今年は雪が多いかもしれないなあ。

分科会

2日目には分科会が行われ、各班に分かれて討論を行いました。はじめは、他団体の人々とともに討論ができるのか、とても不安でした。しかし、前日の交流会で仲良くなったメンバーの方々と、フランクにそれぞれの意見を話せたので良かったです。



討論の後、まとめた結果を発表しました。

* * * * *



サミットの最後に、共同宣言が行われました。

* * * * *

今回、参加して他団体の人々と話をしたことが、とてもいい経験になりました。また、私たちはゼミに入ったことがきっかけで活動をしている人ばかりなので、他団体との活動に対する思いの差をととても感じました。古民家がとても好きで、古民家再生に取り組んでいる子にはとても感心しました。

私たちがさらに活動していくためには、現状を見直していく必要があります。そのため勉強会やミーティングなど、基本的なことから始めていこうと思います。

* * * * *

代表の前田早紀さんに、サミットに参加した成果を聞いてみました。

「男鬼楽座に参加してから今までに、自分たちの活動について、振り返ることがありませんでした。しかしサミットに参加して、発表することで自分たちを客観的にみることができました。また、他の団体の人と交流をして、とても刺激を受けました。茅葺き屋根の葺き替えをするだけでなく、その先の、長期的なビジョンを考えなければならないと気づきました。

そして、丹後村おこし開発チームと古民家族と男鬼が、ネットワークをつくることになりました。それぞれの活動に参加し合い、協力していきたいです！」

笹刈り

さっそく、10月17日～18日に行われた立命館大学・丹後村おこし開発チームの笹刈りに参加してきました！！

丹後村おこし開発チームが活動を行っている上世屋地区では、茅ではなく笹で屋根を葺きます。



笹場の様子です。手前は刈った後、奥はこれから刈る場所です。



茅は主に茎の部分で屋根を葺くため根元を揃えて束ねますが、笹は主に葉の部分で葺くため、葉の部分を揃えて束ねます。

大変な作業でしたが、とてもいい経験になりました！！

今後の活動予定

11月15日 茅刈り（米原市伊吹町）

21・22日 全国茅葺き民家保存活用ネットワーク協議会のシンポジウムへの参加

11月下旬から12月中旬にかけて、適宜、茅刈りを行います。興味のある方はご連絡下さい！

目標を上回る茅を確保!

来年度の葺き替えに向けて

男鬼楽座は、前期に行った葺き替え民家の葺き替え終了後、来年度の葺き替えのための茅刈りを十一月から十二月にかけて数回行いました。

この茅刈りも、葺き替えイベントと同じく一般からの参加者を募集したところ、本学学生の他に他大学学生からも応募があり、交流も兼ねた楽しいイベントとなりました。

伊吹山と多賀町の桃原・保月の計三箇所で行った結果、目標を上回る二百束近い茅を確保することができました。来年度の葺き替えで使用されるまで、茅は貯蔵庫で春を待ちます。

イベントにご参加下さった皆さん、ありがとうございました。来年度の葺き替えが非常に楽しみです。

下の写真は、茅を刈った後に、松の木に茅束を立てかけて、一時的に保管しているものです。一日に刈った三十束あまりの茅束が、敬重に重なっています。

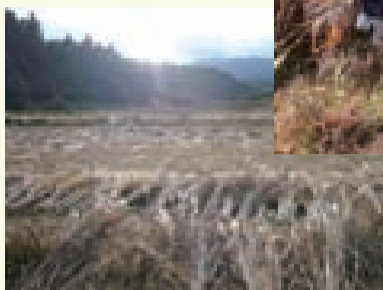


ある一日の成果

かみいしづ
古民家再生プロジェクト

岐阜県の上石津町で行われた、葺き替え民家の屋根葺き及び茅刈りイベントに行ってきました。

これは相互交流の一環で、今回お世話になったのは、岐阜県のかみいしづ古民家再生プロジェクトです。かみいしづの方々にも、今後、男鬼の茅葺きイベントに参加していただく予定です。



▲岐阜県の上石津町での茅刈り



2010/3/31 (水)
発行 男鬼楽座

二〇〇九年度初めての茅刈り
伊吹山

十一月十五日、米原市の伊吹山で二〇〇九年度初めての、茅刈りを行いました。環境科学部の野間先生の縁で、伊吹山の三合目にある茅を刈らせていただくことができました。

九月に行われた、大学生地域再生活動団体サミットで結をつくり、そのおかげで立命館大学の丹後村おこし開発チームから三人の参加を得て、たくさんの方の茅を刈ることができました。

丹後村おこし開発チームは、葺き替え民家の屋根の葺き替えをしておられます。笹よりも茅の方が刈りやすいとのこと。
今後も、お互いの活動に参加し交流を深めていきたいです。



▲茅刈りを終えて

はじめて出会う

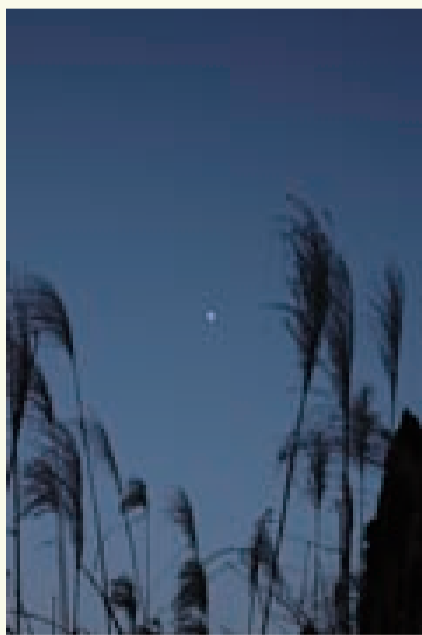
活動のあれこれに感動!

男鬼楽座の活動から得られるもの・ことを紹介しましょう!



① 鎌研ぎの技術→
茅刈りの前には、砥石を使って鎌の刃を研ぎ、道具の手入れをしています。

② 絶景に感動
力仕事が多い活動で大変ですが、そんな疲れも、この景色を見れば...! まだまだ、がんばれます。←



一年間の活動を終えて
一番の成果は、学外のネットワークを拡大する事ができたことです。
葺き替え民家の保存と活用を行う他大学の学生と交流をし、意見交換の場を得ることができました。さらに、立命館大学さん、武庫川女子大学さんとは、「結」的な協力しあう環をつくりました。
それらは、私たちの代だけでできたものではなく、今まで五年間、活動をされてきた先輩方のおかげがあつてこそです。
来年度も、これらのつながりを大切に、活動してまいります。

新たなネットワークの創造へ ～龍谷大学での 学生シンポジウムへ参加～



▲活動内容の発表を行う
代表の前田早紀さん

一月九日、龍谷大学で行われた、環境問題から二十一世紀のむらい社会を考える学生シンポジウム「二十一世紀の景観とまちづくり」に「京都」に参加しました。これは、龍谷大学さんが男鬼楽座の活動を知り、ご連絡していただいたことがきっかけです。古民家楽座と共に参加させていただきました。

2009 年度後期の活動内容

- 11月10日 鎌研ぎなど、茅刈りへの準備
- 11月20,21日 茅葺きシンポジウムに参加
- 11月中旬～12月上旬 茅刈りイベントを開催
- 12月12,13日 かみいしづ古民家再生プロジェクトの茅刈り・葺き替えイベントに参加
- 12月15日 伊吹山で刈った茅を小屋に保管
- 1月9日 古民家楽座と共に龍谷大学の学生シンポジウムに参加